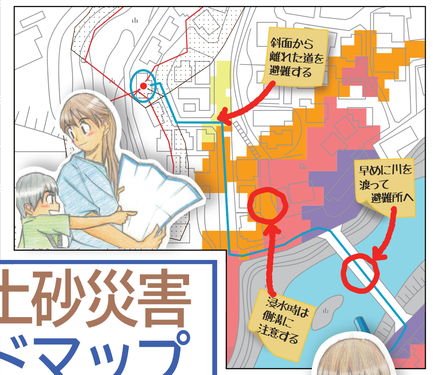
福井市

洪水・土砂災害ハザードマップ

⑰ 上味見・下味見 地区

マップの解説動画はこちら



こうなる前に

知って 備えて 行動へ

洪水イメージ　ＪＲ福井駅西口広場（最大想定）

1　情報の入手方法

わたしたちに 届く 情報

⚠ 事前に登録しないと通知は届きません。

防災行政無線
放送内容の確認は、
ニッコリ フクイシ
0776-25-2914

福井市 防災気象情報メール
避難情報のほか、気象情報や市からのお知らせが配信されます。

LINE
警戒レベルや避難情報などが配信されます。
@fukuicity

i-ame メール
（福井県河川・砂防総合情報メール）
河川や土砂災害の危険情報が配信されます。

緊急速報メール（エリアメール）
福井市内にある携帯電話に、避難情報などが配信されます。
機種により、受信設定が必要な場合があります。

Yahoo! 防災速報（アプリ）
避難情報や気象情報などが配信されます。

わたしたちが 集める 情報

福井市ホームページ
http://www.city.fukui.lg.jp/
気象情報、避難情報などの災害情報を確認できます。

気象庁
雨や天気などの気象に関する情報を確認できます。

福井県河川・砂防総合情報
河川カメラや水位観測所の状況を確認できます。

国土交通省 川の防災情報

Facebook @Fukui.city.Bousai.Info

Twitter @Fukuicity_Bosai

テレビ・ラジオ
テレビは、dボタンから最新情報を確認できます。ラジオは、停電時の情報入手に有効です。

2　猛威を振るう近年の洪水・土砂災害

日本国内の被災状況

近年、熊本県の球磨川を中心に大きな被害を出した「令和２年７月豪雨」や、「平成 30 年７月豪雨（西日本豪雨）」、広島県を中心とした土砂災害が発生した「平成 26 年８月豪雨」など、被害規模が大きくなる傾向にあります。

洪水被害（令和２年７月豪雨：熊本県球磨村）
出典：「水害レポート 2020」 国土交通省

死者・行方不明者数	
令和２年７月豪雨（熊本県ほか）	８６名
平成 30 年７月豪雨（西日本豪雨）	２４５名

出典：内閣府資料、防災白書

福井市では…

平成 16 年７月の福井豪雨による浸水被害や、平成 30 年７月の大雨による国道 305 号の土砂崩れなどの洪水・土砂災害が発生しています。

足羽川堤防（福井豪雨）

ＪＲ北陸線（福井豪雨）

国道 305 号（平成 30 年７月）

藏作町（福井豪雨）

3　防災は「いつ」ではなく「日ごろ」から！

知る

様々なハザードマップ等
福井市では、洪水・土砂災害の他に、内水氾濫、ため池、津波、地震などのハザードマップや、大規模盛土造成地マップを公表しています。

ハザードマップの詳細は、右の２次元コードで確認できます。

備える

備蓄
防災用品の詳細は、右の２次元コードで確認できます。

家のまわりの点検
・窓ガラスの補強
・屋根の点検・修理
・風で飛ばされる物の撤去（自転車やプランターなど）
・側溝や雨水ますの掃除
・外壁の亀裂や浮きの修理

日常備蓄をしよう！
日ごろから食べ物などを少し多めに購入し、古い物から使い、買い足すことで、無理なく備蓄できます。
備える → 買い足す → 食べる 使う

繰り返す

行動する

防災訓練
訓練に参加し、避難の練習をしましょう。

率先避難者になろう！
あなたが選択した「避難する・しない」の行動そのものが、それを見ている他のだれかの運命を左右します。避難の際は積極的に近所の人たちなどに避難を呼びかけましょう。

4　こんな災害にもご注意！

土砂災害のおそれがある区域

地図上の［：：：］や［　　］では土砂災害のおそれがあります。

区域に関する詳細は「土砂災害警戒区域等管理システム」を確認してください。

がけ崩れ
雨や地震などにより、急激に斜面が崩れ落ちる現象。

こんな時は「がけ崩れ」に要注意！
・がけにひび割れができる
・がけから水が湧き出る
・小石がパラパラと落ちてくる

土石流
石や土砂が集中豪雨などによって一気に押し流される現象。

こんな時は「土石流」に要注意！
・急に川の水が濁り、流木が混ざり始める
・山鳴りがする
・降雨が続くのに川の水位が下がる

地すべり
斜面の一部あるいは全部が斜面の下に移動する現象。

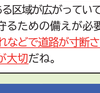
こんな時は「地すべり」に要注意！
・井戸や沢の水が濁る
・地面がひび割れ・陥没
・がけや斜面から水が噴き出す

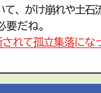
注意
警戒区域外でも土砂災害が発生するおそれがあります。できるだけ斜面から離れてください。雨が弱まった後も土砂災害に注意してください。

強い水流により家屋が倒壊・流失するおそれがある区域

家屋倒壊等氾濫想定区域
最大想定 図中の区域です　地図上の表記［　　］

家屋倒壊等氾濫想定区域とは、氾濫した激しい水の流れ（氾濫流）や、河岸が削り取られる（河岸浸食）ことで、家屋が倒壊したり流されたりするおそれがある区域のことです。区域内にお住まいの方は、早期の立退き避難が必要です。





5　避難時に命を左右する８つのポイント

Point 1　安全な経路を確認しよう！
橋や地下道、斜面近くの道路を使った避難は避けましょう。

Point 2　浸水時の無理な避難はかえって危険！
水深が 50 ㎝（膝程度）で歩行が困難になります。
※流れがある場合は、これより浅くても危険です。

Point 3　近所の人と助け合おう！
高齢者や体の不自由な人など、支援が必要な人の避難に協力しましょう。

Point 4　車で避難する場合は早めの行動を！
例えば、浸水深が 30 ㎝を超えるとエンジンが停止し、走行できません。
道路が浸水した場合は車での避難はやめましょう。

ポイントを押さえて命を守ろう！

Point 5　足元に注意しよう！
マンホールや側溝に足を踏み外す危険があるため、棒などを杖代わりにして歩きましょう。

Point 6　地下空間に注意しよう！
地下空間は水が流れ込みやすく危険性が高い場所です。地上の安全な場所へ早めに避難しましょう。

Point 7　動きやすい服装や荷物で２人以上で避難しよう！
避難するときは、動きやすい服装で、両手が使えるよう荷物はリュックに入れて避難しましょう。

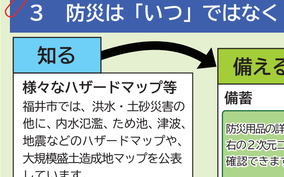
Point 8　危険時は最上階に避難（垂直避難）しよう！
外への避難が危険な場合は、自宅の最上階への避難（垂直避難）や近隣の頑丈な建物に避難しましょう。

6　福井市は水害を受けやすい地形です

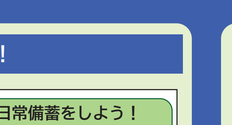
福井市の市街地は、九頭竜川、日野川、足羽川などの大河川の水位よりも低いため、ひとたび堤防が決壊すると甚大な被害が出てしまうよ。

国土交通省、福井県　提供

7　福井市全域図（最大想定）

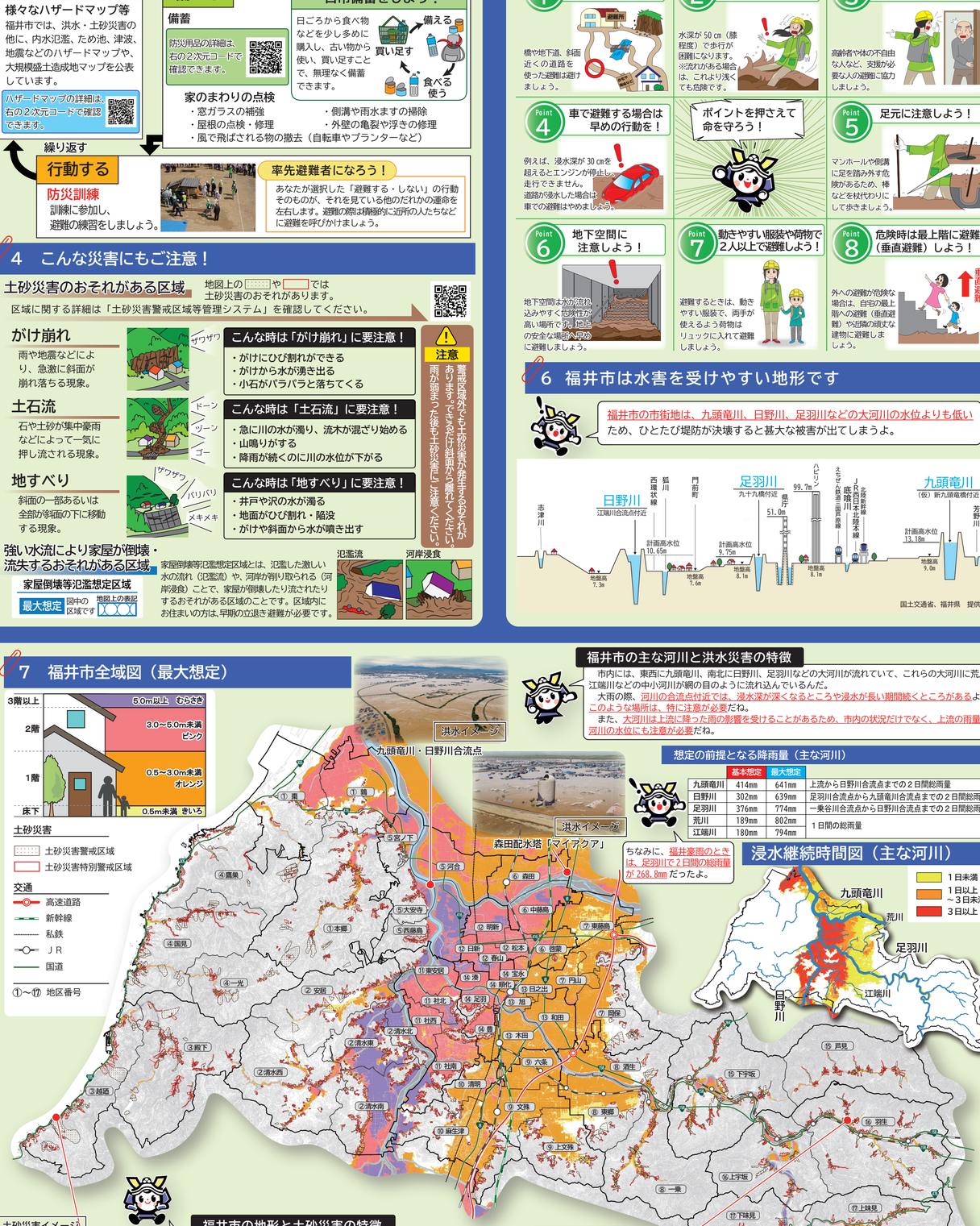


土砂災害
土砂災害警戒区域
土砂災害特別警戒区域
交通
高速道路
新幹線
私鉄
ＪＲ
国道
①～⑰ 地区番号



洪水イメージ

洪水イメージ



福井市の主な河川と洪水災害の特徴

市内には、東西に九頭竜川、南北に日野川、足羽川などの大河川が流れていて、これらの大河川に荒川、江端川などの中小河川が網の目のように流れ込んでいるんだ。
大雨の際、河川の合流点付近では、浸水深が深くなるところや浸水が長い期間続くところがあるよ。このような場所は、特に注意が必要だね。
また、大河川は上流に降った雨の影響を受けることがあるため、市内の状況だけでなく、上流の雨量や河川の水位にも注意が必要だね。

想定の前提となる降雨量（主な河川）

	基本想定	最大想定	
九頭竜川	414mm	641mm	上流から日野川合流点までの２日間総雨量
日野川	302mm	639mm	足羽川合流点から九頭竜川合流点までの２日間総雨量
足羽川	376mm	774mm	一乗谷川合流点から日野川合流点までの２日間総雨量
荒川	189mm	802mm	１日間の総雨量
江端川	180mm	794mm	

ちなみに、福井豪雨のときは、足羽川で２日間の総雨量が 268．8mm だったよ。

浸水継続時間図（主な河川）

福井市の地形と土砂災害の特徴

福井市の地形は、市街地中心部を含む平野部と、西側の高須山や国見岳、越知山などからなる山間部、東側の剣ヶ岳や飯降山などからなる山間部に分かれているよ。
また、平野部には大きな河川が流れていて、足羽三山などの周辺では土砂災害のおそれがあるよ。
さらに、山間部にも土砂災害のおそれがある区域が広がっていて、がけ崩れや土石流、地すべりなどが発生しやすいから、普段から身を守るための備えが必要だね。
特に、細長い谷あいの集落では、土砂崩れなどで道路が寸断されて孤立集落になってしまうおそれがあるから、地域での自主防災活動が大切だね。

土砂災害イメージ

越前水仙の里公園

土砂災害イメージ

美山アンデパンダン広場

地区番号ごとの詳細は裏面の地区詳細版をご覧ください

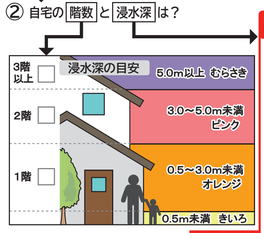
8　マップを見て調べよう！

裏面のマップを見て自宅の階数や浸水深などに ☑ をしましょう。

（１）自宅の災害リスクについて

① 裏面を見て、自宅が浸水深（下記②）の色や土砂災害（下記④）の区域内にありますか？
□ はい　□ いいえ
いいえ → 屋内安全確保
必要に応じて、避難者の受け入れなどの手助けをしましょう。

② 自宅の 階数 と 浸水深 は？
はい →



	基本想定 概ね 100 年に一度の洪水	最大想定 概ね 1,000 年に一度の洪水
5.0m以上 むらさき	□ 5.0m以上	□ 5.0m以上
3.0～5.0m未満 ピンク	□ 3.0～5.0m未満	□ 3.0～5.0m未満
0.5～3.0m未満 オレンジ	□ 0.5～3.0m未満	□ 0.5～3.0m未満
0.5m未満 きいろ	□ 0.5m未満 または、浸水しない	□ 0.5m未満 または、浸水しない

③ 基本想定 や 最大想定 で 自宅の最上階が浸水しますか？
基本想定 □ はい → 早期の立退き避難
□ いいえ →
最大想定 □ はい → 立退き避難
□ いいえ →

④ 自宅が土砂災害のおそれがある区域（地図上の表記［：：：］や［　　］）内にありますか？
□ はい → 垂直避難
□ いいえ →

⑤ 最大想定 で、自宅が家屋倒壊等氾濫想定区域（［　　］）内にありますか？
□ はい → 垂直避難
□ いいえ → 避難不要

早期の立退き避難
警戒レベル３「高齢者等避難」が出たら早めに避難してください。

立退き避難
警戒レベル４「避難指示」が出たらすぐに避難してください。

垂直避難
自宅の最上階への避難が可能です。
安全が確保されるまでの水や食料、薬などを、できる範囲で日ごろから備蓄しておくことが大切です。

（２）家族の状況について

避難に支援が必要な人の有無（高齢者、障がい者、乳幼児、妊婦）
□ なし　□ あり
「☑ あり」と回答した方は…

警戒レベル３で避難
避難に支援が必要な人とその支援者は、警戒レベル３「高齢者等避難」で避難を開始してください。

（３）避難先について

裏面の ６つの避難行動 を参考にして、避難先を考えましょう。

災害時、自宅の地区内で最初に開く指定避難所（地図上の表記［　　］）		（移動手段：	）移動時間：約　分）
親戚・知人の家		（移動手段：	）移動時間：約　分）
その他（近くの安全な場所）		（移動手段：	）移動時間：約　分）

9　マイ・タイムラインをつくろう！

マイ・タイムラインとは…　災害時に、「いつ」、「何をするのか」を整理したあなたの防災計画です。
洪水は地震と違い刻々と進行するため、防災行動をあらかじめ整理できます。

マイ・タイムラインがないと…
①災害時に冷静な判断ができない
②避難時間が足らない
③持ち出し品の準備が間に合わない

つくる時のポイント
①どのタイミングでどの避難情報が出されるか、情報の意味とともに理解する。
②災害発生から時間をさかのぼり、持ち出し品の準備や、いつ情報を集めるかを、避難のための行動を整理する。
③平日、休日における家族の在宅の有無などについても考える。

警戒レベルについて
「警戒レベル」とは、災害の危険性を直感的に理解するための５段階の情報です。
1 警戒レベル１ 気象情報を確認し、災害への心構えをする。
2 警戒レベル２ ハザードマップ等で、避難所や避難ルートを確認する。
3 警戒レベル３ 高齢者等避難 避難に時間がかかる方や避難を支援する方、早期の立退き避難が必要な方は、安全な場所へ避難する。
4 警戒レベル４ 避難指示 土砂災害警戒区域等、危険な場所にいる方は、全員速やかに避難する。
5 警戒レベル５ 緊急安全確保 すでに災害が切迫・発生しており、命を守る最善の行動をとる。

お問い合わせ先　ハザードマップに関すること：河川課（0776-20-5492）　避難に関すること：危機管理課（0776-20-5234）　［ 令和３年９月作成 ］